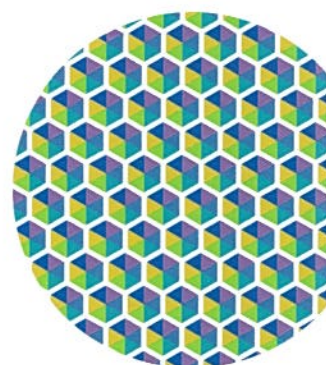
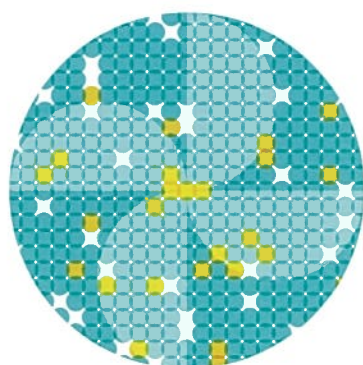
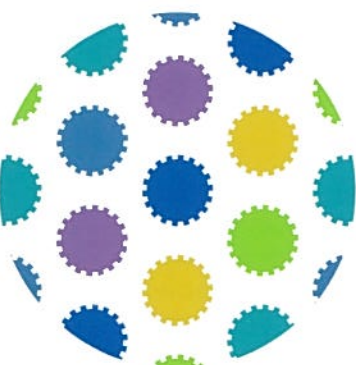


芝浦工業大学2015年度 男女共同参画推進国際シンポジウム

世界の舞台で活躍する 女性研究者の育成強化に向けて



12/5 **土** **13:30-17:00**
(開場 12:30)

会場 豊洲キャンパス
交流棟6階 大講義室

【プログラム】

13:30	開会の辞	学校法人芝浦工業大学理事長 五十嵐 久也
13:35	来賓挨拶	参議院議員 猪口 邦子氏 内閣府男女共同参画局長 武川 恵子氏 文部科学省(予定)
14:00	基調講演 (同時通訳付)	You are the Internet of Women - Be Fearless! モニク モロー氏 CTO New Frontiers Engineering, Cisco Systems, Inc.
15:00	休憩	
15:30	芝浦工業大学	男女共同参画推進 成果報告 ◆芝浦工業大学における男女共同参画 学長 村上 雅人 ◆「女性研究者研究活動支援事業」の成果報告 男女共同参画推進室長 國井 秀子 ◆事例紹介「女性研究者研究支援事業」における支援の成果 ・Fab Girl プロジェクトを基にした新たな研究テーマの創出 工学部准教授 菅谷 みどり ・研究支援により変化した働き方と意識について 大学院工学マネジメント研究科准教授 平田 貞代 ・女性研究者としてのワークライフバランス確保へのサポートを得て 工学部准教授 村上 嘉代子
16:45	コメント	モニク モロー氏
17:00	閉会の辞	副学長 米田 隆志 【総司会】男女共同参画推進室教授 中野 美由紀

【お申込み】

参加無料 下記URLからお申込みください

<http://www.shibaura-it.ac.jp/event/2015/80150017.html>



東京メトロ有楽町線「豊洲」駅1cまたは3番出口から徒歩7分
JR京葉線「越中島」駅2番出口から徒歩15分

主催: 芝浦工業大学男女共同参画推進室

後援: 内閣府男女共同参画局

日本工学会(予定)

電子情報通信学会

情報処理学会

日本データベース学会

お問い合わせ先

芝浦工業大学男女共同参画推進室
[E-mail] desk-gequality@ow.shibaura-it.ac.jp
〒135-8548
東京都江東区豊洲3-7-5(豊洲キャンパス)
〒337-8570
埼玉県さいたま市見沼区深作307(大宮キャンパス)



芝浦工業大学

男女共同参画推進室



芝浦工業大学

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY



基調講演者

モニク モロー氏

CTO New Frontiers Engineering,
Cisco Systems, Inc.

Monique Jeanne Morrow氏は現在、CTO New Frontiers Engineering, Cisco Systems, Inc.であり、the Cisco Research and Advanced Development Group にてDistinguished Consulting Engineerの称号をお持ちです。Morrow氏は長年に渡り、様々なネットワークスイッチにおけるネットワークサービス管理のInternet Protocol (IP)の設計、開発に従事してこられました。なかでも、世界に先駆けて初期のMultiprotocol Label Switching (MPLS) ネットワークの設計、実装を手掛けています。MPLSは多くのサービスプロバイダにおいてインターネットバックボーンにおいてリアルタイムの音声、ビデオ画像の通信においてQoSおよびSLAsを実現する方式として採用されています。

Morrow氏はthe Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)のシニアメンバー、the Association of Computing Machinery (ACM)の生涯メンバーであり、また、通信の標準化、次世代ネットワーク関連団体の委員長などを歴任されています。

情報通信分野における長年にわたる革新的な技術開発への貢献、女性技術者としての確固たるキャリア、そして未来の女性技術者へ向けての活動を高く評価され、2014年には、IEEE EuropeのClementina Saduwa Award 2014 (Women in Engineering region 8 (Europe & Africa, Mid-East Asia) award)を受賞されました。



菅谷 みどり

芝浦工業大学工学部准教授

着任直前に迎えたライフイベントに対し、着任後一年は教育研究業務に精一杯で新たな研究には手が届きませんでした。こうした中、研究支援員の配置を受け、女性研究者の卵である支援員のキャリア形成の参考になるよう新たな研究テーマを共同で模索しました。その結果、ICT技術に関連した女性研究者、技術者を目指した女子学生の新たな教育方法の研究を考案し、他の女性教員とも協力して、新しい女子学生向けプロジェクトFab Girlプロジェクトとして実践することとなりました。プロジェクトを通じ、女子学生がリーダーとして成長すると同時に、研究面でも成果を残すことができたことを報告します。



平田 貞代

芝浦工業大学大学院工学マネジメント研究科准教授

大学教員と二子の母との両立中に研究支援員の配置を受け、作業時間の短縮だけでなく、支援を得るからには研究の遅れを取り戻そうという励みになりました。また、以前は時間不足のため諦めていた、他キャンパスの教員達との協力が可能となり、研究領域が広がりました。支援開始以来1年間で新たに、共同研究契約2件を含め8件の産学連携を遂行し、外部競争的資金2件を獲得しました。こうした体験を踏まえ男女共働の在り方について報告します。



村上 嘉代子

芝浦工業大学工学部准教授

本学が女性研究者研究活動支援事業に採択され、出産・育児という家庭での責任ができた後も、優秀な女子男子大学院生の研究支援員からのサポートを受けられました。そのおかげで、研究を完全に中断せず共同研究を含む3つのプロジェクトをゆっくりではあるけれども着実に進めることができました。休業中に新たな研究プロジェクトを申請することができ、現在は4つのプロジェクトを支援員のサポートを得て行っています。研究支援員配置を受けたことで続けられた研究活動や得られた研究成果について報告します。



FAX
でのお申込み

下記項目をご記入の上、
12月1日までにご送信ください。

* お名前	性 別	男	・	女	・	その他
* 所 属						
電話番号	* メール アドレス					
シンポジウムをどこでお知りになりましたか (複数可)		ポスター・チラシ・本学ウェブサイト・他ウェブ・知人から・他				

*必ずご記入ください。

FAX送信先: **048-720-6441**

MAIL

でのお申込み

件名を「参加希望」とし、本文に「お名前」「所属」「メールアドレス」をご記入の上、
12月1日までにご下記アドレスへ送信ください。

メール送信先: **c-g-equality@ow.shibaura-it.ac.jp**

※お送りいただいた個人情報は、本シンポジウムお申込み後のお問い合わせやご連絡のみに使用いたします。